

5 A案

教材名：相手を大切にすること

主題名：心のこもった接し方

内容項目：B（9）礼儀

1 **ねらい** 茶道のいろいろな作法は、相手を大切に思う心遣いの表れであることに気付
き、真心を持って礼儀正しく行動しようとする実践意欲と態度を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 映像資料（「点前の様子」のインタビュー前まで）を視聴し、「茶道」について
知っていることを伝え合う。

- ① 「茶道」について、どんなことを知っていますか。
- ・ 正座をしていて、堅苦しいイメージがあるな
 - ・ 保育園の時に体験したけれど、お茶が苦かったよ

◇ 教材を読んで話し合う。

② 自分のはいていたスリッパをかごに投げ入れた時、わたしはどんな気持ちだった
でしょう。

- ・ 早く行かないと遅れてしまう
- ・ こんなに汚くていいのかな でも、みんなもしているし

③ わたしが学んだ「大切なこと」とは、どのようなことでしょう。

- ・ 茶道の作法やおもてなしの心の大切さ
- ・ 相手を思いやることの大切さ
- ・ きれいにしておくことの大切さ
- ・ 相手のことを考え、それを行動に移すことの大切さ
- ・ みんなが気持ちよく過ごすための心遣い

④ かごの中にきちんとそろえて入っているスリッパを見た時、わたしはどんなこと
を思ったでしょう。

- ・ みんな岡田さんの思いが分かったんだな
- ・ きちんと入っていると、次に使う人が気持ちよく使えるな
- ・ 相手を大切にすることって、こういう形で表れるんだな

◇ 自分の生活を振り返って考える。

⑤ 相手を大切にすることを持って、礼儀正しく行動できたことを伝え合ひましよう。

- ・ トイレのスリッパを次に履く人のことを考えてそろえた
- ・ 挨拶をする時は、相手の人も気持ちよくなるように、明るく元気にしている

3 指導上の留意点及び工夫

- ・ ①では、映像資料で点前の様子（インタビュー場面）を視聴することで、岡田さん
の思いを捉えやすくする。
- ・ ⑤では、教師の体験を伝えることで、児童の体験を想起させる。

4 参考資料

- ・ 映像資料集（小学校高学年）「5 相手を大切にすること」

5 B案

教材名：相手を大切にすること

主題名：心のこもった接し方

内容項目：B（9）礼儀

1 **ねらい** 茶道のいろいろな作法は、相手を大切に思う心遣いの表れであることに気づき、真心を持って礼儀正しく行動しようとする実践意欲と態度を育てる。

2 授業展開例（ゲストティーチャーをGTと示す）

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 礼儀について考える。

- ① 礼儀とは何でしょう。
- ・しっかりと挨拶をすること
 - ・正しい言葉遣いをする

◇ 映像資料を視聴し、教材を読んで話し合う。

- ② 同じ子供たちなのに、最初と最後でスリッパの入れ方が変わったのはどうしてでしょう。
- ・茶道教室で茶道の作法について詳しく教えてもらったから
 - ・一つ一つの作法には相手への思いやりがあると学んだから
 - ・相手の気持ちに立ち、精一杯の心を尽くして接する岡田さんの姿から礼儀正しくするよさを感じたから
- ③ 入り口でズックをそろえた時の思いと最後にスリッパをそろえた時の思いは同じでしょうか。
- ・ズックは係の人がそろえていたから自分もした
 - ・スリッパは次に使う人のことを考えてそろえた
 - ・そろえたことは同じだけど、人への思いやりの気持ちがこもっているかが違う

◇ GTの話聞く。

- ④ 茶道の手前と客の作法についての話を聞きましょう。

◇ 自分との関わりで考える。

- ⑤ 礼儀とはどのようなものだと思いますか。これまでの自分やこれからの自分について考えてみましょう。
- ・礼儀とは、挨拶をすとか敬語を遣うことだと思っていたけれど、相手を思う気持ちを行動に表すことだと分かった
 - ・相手のことを大切に思う気持ちが伝わるような挨拶をしたい

3 指導上の留意点及び工夫

- ・②で「岡田さんに大切なことを教えてもらったから」という意見が出た際には、大切なこととは何なのかを考えさせるようにする。
- ・GTが難しい場合は、教師の説話でもよい。相手を大切にすることを持って礼儀正しくできた体験や、反対に失敗した体験を伝えるとよい。

4 参考資料

- ・映像資料集（小学校高学年）「5 相手を大切にすること」